

3日 水曜

列王 I

1:28 ダビデ王は答えた。「バテ・シェバをここに。」彼女が王の前に来て、王の前に立つと、

1:29 王は誓って言った。「【主】は生きておられる。主は私のたましいをあらゆる苦難から贖い出してくださいました。」

1:30 私がイスラエルの神、【主】にかけて、『必ずあなたの子ソロモンが私の跡を継いで王となる。彼が私に代わって王座に就く』とあなたに誓ったとおり、今日、必ずそのとおりにしよう。」

1:31 バテ・シェバは地にひれ伏して王に礼をし、そして言った。「わが君、ダビデ王様。いつまでも生きられますように。」

1:32 それからダビデ王は「祭司ツアドクと預言者ナタン、それにエホヤダの子ベナヤをここに呼べ」と言った。彼らが王の前に来ると、

1:33 王は彼らに言った。「おまえたちの主君の家来たちを連れて、私の子ソロモンを私の雌ろばに乗せ、彼を連れてギホンへ下れ。」

1:34 祭司ツアドクと預言者ナタンは、そこで彼に油を注いでイスラエルの王とせよ。そうして、角笛を吹き鳴らし、『ソロモン王、万歳』と叫べ。

1:35 それから彼の後に従って上れ。彼は来て、私の王座に就き、私に代わって王となる。私は彼をイスラエルとユダの君主に任命する。」

1:36 エホヤダの子ベナヤが王に答えて言った。「アーメン。王の神、【主】も、そう言われますように。」

1:37 【主】が王とともにおられたように、ソロモンとともにいて、その王座を、わが君ダ



ビデ王の王座よりもすぐれたものとされま
すように。」

アドニヤの野心は、結局ソロモンが王となることのきっかけとなりました。主のご計画に反することは、成就することはありません。かえって主の計画に用いられるのです。

私たちがそのような主のみわざを見るのですが、それには確信が必要であり、あくまでも主に従おうという決心が必要です。ダビデにはナタンなど信仰の同志がいました。主のご計画は信仰の共同体に共通に示されるのです。特に預言者、祭司といった信仰の働き人は重要です。

共に分かち合い、ビジョンを共有しつつ、主の共同体に働くビジョンと夢に向かっていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

